

円山小学校 環境学習プログラム学校訪問 結果報告書

〔日 時〕 令和4年10月20日（木） 10:25～12:00

〔出席者〕 （1）学校側出席者 円山小学校教頭、担当教諭1名、公民館長
 （2）市側出席者 福井市環境学習プログラム学校訪問員1名、
 福井市学校教育課職員1名、環境政策課職員2名

〔訪問内容〕 ・福井市環境学習プログラムにかかる取組の確認
 ・足羽山どんぐりプロジェクトの実施

〔講 評〕 ※ESDのポイントを踏まえ取り組まれているかを中心に講評しています。

<能力・態度>

批判的に考える力	①
未来を予測して計画を立てる力	②
多面的・総合的に考える力	③
コミュニケーションを行う力	④
他者と協力する態度	⑤
つながりを尊重する態度	⑥
進んで参加する態度	⑦

<概念>

多様性	①
相互性	②
有限性	③
公平性	④
連携性	⑤
責任性	⑥

概念を理解するために必要な（身につけるべき）能力・態度

I	環境の取組	能力・態度	概念
	≪節電・節水・ゴミの分別の取組≫ ・古紙回収を積極的に行います。 ・各学級で、環境を守るためにできることは何かを考え、実践します。	②、④、⑤、⑦	③、⑤、⑥
		所感 学校訪問当日は、学校側（校長、教頭、担当教諭）から、①節電・節水・ゴミの分別、②環境学習、③地域と連携した取組について、それらの実践内容の報告を受けたのち、意見交換をした。 その後、学内巡視を行い、随所に節電や節水を呼びかけるステッカーなどが掲示されていることを確認した。 また、コロナ対策として水道蛇口のレバー方式への改善が、結果的に水道使用量の増加を招いてしまったことなど、現場の先生方の日々のご苦勞がしのばれるひとこまだった。	

Ⅱ	環境の取組	能力・態度	概念
	《環境学習》	①、③、⑤、⑥、⑦	①、②、⑤、⑥
	・5年生の総合「円山の宝　リゾット米」の学習では、コメづくりに適した環境について、インターネットで調べたり、外部講師の話を聞いたりします。 ・教科横断的に、SDGsについて学習し、自分たちにできることについて考えます。	所感 学校訪問当日は好天に恵まれたこともあり、中庭にて、特別支援学級児童を対象に「どんぐりプロジェクト」の趣旨を説明したうえで、3グループに分かれて、どんぐり種子のポットへの植え付け作業を行った。 児童たちが、講師の説明を真剣に聞いてくれたことが、その後のどんぐり種子の植え付け作業にも反映しており、とても感心した。 また、地域で耕作している和みリゾット米の学習では、県農業試験場や公民館からの講師の話を聞くなど、地域に根差した積極的な取り組みとして、高く評価したい。	
Ⅲ	環境の取組	能力・態度	概念
	《地域と連携した取組》	④、⑤、⑥	③、⑤、⑥
	・PTAと学校で、年2回の資源回収と年6回の空き缶回収を行います。	所感 裏紙活用にとどまらず、ペーパーレス化など紙削減の取り組みが進んでいると感じられた。 なお、古紙（新聞や雑誌）やアルミ缶の回収事業は、ともすればマンネリ化しがちですので、その成果（回収量や金額など）を発信することを検討してほしいと思います。	
Ⅳ	その他の所感		
	環境改善への取り組みは多様なものであり、オリジナリティにこだわることなく、他の学校等での取り組みであってもいいと思ったことは大いに真似ていってほしいと思う。 今後とも、公民館やPTAなど地域との連携・協力のもと、環境への取り組みを行ってほしいと考えます。 また、どんぐりプロジェクトの一環として行っている、今回の児童によるどんぐり種子の植え付けは、児童間の発芽率競争を目的とするわけではないので、来春には、まちまちの結果になるであろう発芽結果の受け止め方について、児童に適切に指導・対応してほしいと思います。		

〔訪問の様子〕

